



## わたしたちにとってのガリラヤ

あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。

（マルコによる福音書16章7節）

ひさの しんいちろう  
久野 真一郎

主イエスが復活された日の早朝、マグダラのマリア、ヤコブの母マリア、サロメは墓に駆けつけるのですが、一つ気がかりなことがありました。墓の入口を塞いでいる、丸くて人の背丈より大きく重い石のことです。ところが墓に着きますと、何とその石はわきへ転がされていました。婦人たちは何か重大なことが起こったのだと予感したに違いありません。その予感どおり墓の中に座っていた若者すなわち天の使いは驚きの知らせを告げます。

その一つは、「あの方は復活なさって、ここにはおられない。御覧なさい。お納めした場所である」（6節）です。今や墓は空の入れ物に過ぎません。いま一つは、「さあ、行って、弟子たちとペトロに告げなさい。『あの方は、あなたがたより先にガリラヤへ行かれる。かねて言われたとおり、そこでお目にかかれる』と」（7節）です。「かねて言われたとおり」とは、主イエスが弟子たちと最後の食事をされた後、オリーブ山に向かわれる途中で「わたしは復活した後、あなたがたより先にガリラヤへ行く」（14:28）と言われていたことを指します。8節には「婦人たちは墓を出て逃げ去った。震え上がり、正気を失っていた…」とあり、受けた言葉による衝撃の大きさが分かります。けれども天の使いが伝えたことは、弟子たちだけでなく、わたしたちにとりましても、極めて重要であったと言わなければなりません。

そうです。今やわたしたちもまたガリラヤへと向かうことが強く促されているからです。マルコは明らかにこの「ガリラヤ」という言葉に特別な意味を込めています。一つは、天の使いが「そこでお目

にかかれる」と告げましたように、復活の主とお会いできる場としてのガリラヤであります。マルコの本文はここで終わるのですが、弟子たちはガリラヤの地へと赴いて復活の主とお会いし、この地は彼らにとって新たな使命へと赴く再出発の場となりました。その意味において礼拝の場こそわたしたちが向かうべきガリラヤではないでしょうか。

今一つのことがこのことから示されます。それは宣教の場としてのガリラヤです。弟子たちにとってガリラヤは、日常生活の場でありました。すなわち彼らはそこで主と出会い、主と共に多くの町々村々で御国の訪れを持ち運び、多くの人たちが主の御手による癒やしに与り、慰めと希望に与ったのです。このように、弟子たち、したがってわたしたちにとってのガリラヤは、宣教の場そのものでもあると言わなければなりません。

この新たな宣教の場としてのガリラヤは晴れがましい場であるよりも、多くの労苦が待ち受けている場です。けれどもそのガリラヤは、主御自身がわたしたちと共に働いておられるところにほかならないことを忘れてはなりません。復活の主は、天の使いが告げましたように、わたしたちより先にガリラヤへと行かれ、わたしたちもまたその新たな宣教の場へと向かうことが促されるのです。

ですから「主は死に打ち勝たれた」と告げられる主の日に、わたしたちにとってのガリラヤに共に集い来たり、喜びと希望の訪れを携えてわたしたちをこのところからお遣わしてくださいと、祈り求めようではありませんか。（札幌琴似教会牧師）

|                    |                           |       |   |
|--------------------|---------------------------|-------|---|
| 説教                 | わたしたちにとってのガリラヤ            | 久野真一郎 | 1 |
| 現代の神学者紹介           | 第二回 リッチェル ハルナック           | 小林 宏和 | 2 |
| 旧約聖書に聴く「十戒とは何か」(1) | はじめに                      | 三好 明  | 3 |
| 特集 病と癒し…聖書         | 聖書にみる「病と癒し」               | 富樫 史朗 | 4 |
| 特集 病と癒し…歴史         | 愛のわざとしての医療の始まり            | 芳賀 繁浩 | 5 |
| 特集 病と癒し…医療現場       | 病の癒しの中にある神の奇跡 -チャプレンの現場から | 浜本 京子 | 6 |
| 特集 病と癒し…癒しの体験      | 神ともにいまして                  | 高谷 史朗 | 7 |
|                    | 先達の生涯に続く                  | 青木 京子 | 7 |
| こいのにあ              | 将来の交わりと協働のために             | 有賀 文彦 | 8 |
| 教会ニュース             |                           |       | 8 |